

会議・研究会・委員会

1 会 議

(1) 参与会議

参与会議は、所の設置目的に即した研究活動の実施等の観点から、機関運営についての評価（機関評価）をしていただくとともに、研究の方向・内容等について助言・意見をいただくことを目的として設置されており、機関評価は、農林水産政策研究所研究評価実施要領において参与会議が毎年実施すると規定されている。

平成 14 年度の機関評価を実施するための参与会議（第 3 回参与会議）は、平成 15 年 8 月 20 日（水）に農林水産政策研究所第 3 会議室において、11 名中 7 名の参与の出席を得て開催された。会議では、研究所から機関運営についての自己評価結果を報告し、これを受けて活発な意見交換がなされた。

この会議を踏まえ、参与の方々に、「今後 5 年間に重点的に推進すべき課題」の進捗状況、研究の実施体制、研究成果等の公表と活用、の項目毎の評価及び総合評価を行っていただいた。

総合評価の結果は、ABCD の 4 段階評価で 6 名が B 評価となり（1 名は評価票未提出）、機関評価を踏まえた着実な改善、より開かれた研究機関を目指す努力等がみられ、研究所の活動はおおむね順調に進んでいるとのコメントをいただいた。他方、今後の課題としては、国民ニーズや行政ニーズを強く意識した研究戦略、今日的課題に即応する研究への取り組み、政策部局の「政策枠組み」に対する提言をなし得るような努力、以上 3 点の必要性について指摘された。

研究所では評価結果への対応方針をとりまとめ、評価結果と併せホームページに公表した。そのうち、総合評価に対応する部分の概要は、以下のとおりである。

1) 情勢認識

対外的には WTO や FTA 等の国際交渉への戦略的対応、国内においては農林水産産業を支援するための抜本的な政策改革の推進が課題となっており、こうした行政ニーズに的確に答える政策シンクタンクとしての機能を当所が十分に発揮することが強く望まれる情勢にある。

2) 行政との連携強化

このため、当所としては、農林水産行政各部局と一層の連携強化を図りつつ、政策の企画・立案に資する研究機関として、より質の高い政策研究を目指した取り組みを進めるための体制整備を推進する。

3) 迅速・的確な発信・提言

特に、環境、食品安全、農業構造改革、WTO、FTA 等、農林水産行政の直面している緊急課題や社会的ニーズの高い問題については、迅速・的確な研究対応を心がけ、それらの研究成果については迅速に行政部局に還元するとともに、各研究の成果が具体的な政策提言にまでつながるものとなるよう努力する。また、多様な機会を活用して、でき

るだけわかりやすい形で社会全般への普及にも努力する。

(2) 研究評価実施要領に基づく研究評価会議

当所の研究課題評価については、プロジェクト研究について、外部の専門家からなる評価委員会をプロジェクト研究毎に設けて課題評価を実施することとしており、平成15年度は、以下の日程（いずれも平成16年）で評価委員会を開催した。

食料・農業の危機管理システムの構築に関する研究（2月18日）

ライフスタイルの変化に対応した農山漁村地域の再生方策に関する研究（2月23日）

環境・資源制約下における世界食料需給の予測手法精緻化に関する研究（2月25日）

農業由来の有機質資源の循環利用に係る政策の評価手法の開発に関する研究（2月26日）

行政対応特別研究（3月4日）

評価委員会では、研究員からの説明の後、評価委員からコメントをいただいた。また、行政対応特別研究の評価委員会には、本省の関係行政部局も参加し、議論に加わった。評価委員会の後、評価委員による評価結果及びこれに対する研究所の今後の対応方針をとりまとめ、ホームページに公表した。

上記の他、以下の平成16年度新規プロジェクトについては、外部の専門家による事前評価（書面審査）を平成15年8月に実施し、評価結果及びこれに対する研究所の今後の対応方針をとりまとめ、ホームページに公表した。

農業の多面的機能発揮のための政策評価分析

食の安全性・環境負荷の軽減を志向する農業生産システムの育成施策とそれを支援する農政のあり方に関する研究

WTO体制下における農業バイオ規制を巡る国際的な摩擦の動向と整合化の方向の解明

さらに、経常研究については、研究領域毎に所内の小課題別検討会を以下の日程（いずれも平成16年）で開催した。

評価・食料政策（2月12日）

地域振興政策（2月12日）

国際政策（2月13日）

平成15年度プロジェクトに係る評価委員

プロジェクト名	評 価 委 員 名	任 期
環境・資源制約下における世界食料需給の予測手法精緻化に関する研究	大賀 圭治（東京大学大学院農学生命科学研究科教授）	15. 4 ~ 16. 3
	小山 修（（独）国際農林水産業研究センター国際情報部長）	14. 2 ~ 16. 3
	中川 聡七郎（鳥取環境大学環境政策学科教授）	14. 2 ~ 16. 3
農業由来の有機質資源の循環利用に係る政策の評価手法の開発に関する研究	甲斐 諭（九州大学大学院農学研究院教授）	15. 4 ~ 16. 3
	出村 克彦（北海道大学大学院農学研究科教授）	15. 4 ~ 16. 3
	永木 正和（筑波大学農林学系教授）	15. 4 ~ 16. 3
食料・農業の危機管理システムの構築に関する研究	池田 三郎（筑波大学社会工学系教授）	15. 4 ~ 16. 3
	中村 靖彦（明治大学客員教授）	15. 4 ~ 17. 3
	吉川 泰弘（東京大学大学院農学生命科学研究科教授）	15. 4 ~ 16. 3

プロジェクト名	評価委員名	任期
ライフスタイルの変化に対応した農山漁村地域の再生方策に関する研究	守友 裕一（福島大学経済学部教授） 杉岡 直人（北星学園大学社会福祉学部教授） 小川 全夫（九州大学大学院人間環境学研究院教授）	15.4～16.3 15.4～18.3 15.4～18.3
行政対応特別研究	大泉 一貫（宮城大学大学院事業構想学研究科教授） 中川 聡七郎（鳥取環境大学環境政策学科教授） 堀口 健治（早稲田大学政治経済学部教授）	14.2～16.3 14.2～16.3 14.2～16.3
平成16年度新規プロジェクト研究（3課題・事前評価）	坪井 伸廣（筑波大学農林学系教授） 両角 和夫（東北大学大学院農学研究科教授） 横川 洋（九州大学大学院農学研究科教授）	15.8～16.3 15.8～16.3 15.8～16.3

（3）政策研究調整会議及び同連絡会

政策研究調整会議（以下「調整会議」という）は、農林水産省行政部局と農林水産政策研究所との連携を強化し、行政の研究ニーズに的確に対応した政策研究の推進を図るため、研究所における研究方針や研究課題の設定等について、行政からの提案、内容の協議、調整等を行うことを目的として設けられたものである。調整会議は、各局庁の代表課長（政策評価または企画担当課）、大臣官房企画評価課長及び政策研究管理官、大臣官房情報課長、環境政策課長、同国際部国際政策課長、同統計部統計企画課長、並びに研究所の次長、企画連絡室長、政策研究調整官、関係研究部長をもって構成される。

また、調整会議は、会議の運営の円滑化等を図るため、各局庁の代表課長（政策評価または企画担当課）課長補佐等、大臣官房企画評価課政策研究管理官及び課長補佐、同情報課課長補佐、同環境政策課課長補佐、同国際部国際政策課課長補佐、同統計部統計企画課課長補佐並びに研究所の政策研究調整官、政策研究調査官、関係研究部長、企画科長をもって構成する実務者レベルの連絡会を置いている。

平成15年度の調整会議及び連絡会の開催状況は以下のとおりである。

- 1) 政策研究調整会議（平成16年3月29日）
 - ・所の機関評価及び研究課題評価の結果について
 - ・所の体制整備について
- 2) 政策研究調整会議連絡会（平成15年4月25日）
 - ・平成15年度農林水産政策研究所研究実行計画（案）について
 - ・平成16年度新規予算要求について

（4）研究員会議

当所においては、設立当初から研究活動の推進、研究員相互の交流を目的として研究員会議が組織されている。研究員会議は、全研究員によって構成され、事務運営機関として幹事会が設けられている。

幹事会は、6名の常任幹事（研究各部から各2名）と1名の非常任幹事（企画連絡室に所属する研究員）で構成され、研究員会議の運営と研究会の企画・運営等の研究活動の推進的役割を果たすとともに、各種委員会（委員会の項参照）の委員を受け持ち、それぞれの任に当たって

いる。

平成15年度に開催された研究員会議の開催日及び主な懇談事項・議題は以下のとおりである。

平成15年 7月 1日

客員研究員制度とプロジェクト研究における外部委託について

平成15年 9月16日

研究員会議運営規程の改正（農林水産研究ワークショップについて）

平成15年12月16日

平成16年 3月23日

研究員会議幹事

所 属	平成15年度前期	平成15年度後期
評価・食料政策部	伊藤 順一 矢部 光保	矢部 光保（～平成16年3月16日） 吉井 邦恒
地域振興政策部	千葉 修 江川 章	江川 章 佐藤 孝一
国際政策部	明石 光一郎 須田 文明	須田 文明 會田 陽久
非常任幹事	後藤 淳子 近藤 浩（5月1日～）	近藤 浩

研究員会議事務分担

委 員 会 等	平成15年度前期	平成15年度後期
代表幹事	伊藤 順一	矢部 光保
編集委員会	千葉 修 伊藤 順一 須田 文明	江川 章 吉井 邦恒 須田 文明
研究会	須田 文明 矢部 光保 江川 章	會田 陽久 吉井 邦恒 佐藤 孝一
編集小委員会	千葉 修 伊藤 順一 明石 光一郎 矢部 光保 江川 章 須田 文明	江川 章 矢部 光保 吉井 邦恒 佐藤 孝一 會田 陽久 須田 文明
図書委員会	明石 光一郎 伊藤 順一 千葉 修	吉井 邦恒 江川 章 會田 陽久
研修委員会	矢部 光保	矢部 光保

委員会等	平成 14 年度前期	平成 14 年度後期
庶務	江川 章	江川 章
研究情報高度化委員会	明石 光一郎	會田 陽久
駐村研究員制度運営委員会	江川 章	佐藤 孝一
研究推進委員会	明石 光一郎	佐藤 孝一
	矢部 光保	須田 文明
	須田 文明	須田 文明